

景況調査 結果報告 Vol. 18～アンケート期間 R2. 10月-12月～

今回、第18回目となる景況調査の報告をします。今回は「業況」に注目し、全国の調査結果と鳥栖の調査結果をDI値にて比較しました。

景況調査（業況判断DI結果）全国版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	▲40.8	▲29.2	11.6
建設業	▲21.8	▲17.1	4.7
卸売業	▲37.4	▲21.5	15.9
小売業	▲36.2	▲31.4	4.8
サービス業	▲32.1	▲25.3	6.8

景況調査（業況DI結果）鳥栖版

	7-9月	10-12月	前期差
製造業	0	0	0
建設業	▲25.0	0	25.0
卸売業	▲66.7	▲33.3	33.4
小売業	0	▲60.0	▲60.0
サービス業	▲50.0	11.1	61.1

注目ポイント

全産業の業況判断DIは、-26.1（前期差8.0ポイント増）となり2期連続して上昇しました。

注目ポイント

製造業・建設業・卸売業・サービス業はDI値のマイナス幅が縮小しています。小売業ではマイナス幅が拡大しました。

景況調査とは・・・

中小企業、小規模企業の景況を把握し、資料や情報の収集の為四半期毎にアンケート方式で実施しています。

- ◆調査期間 令和2年10月～12月
 - ◆対象企業 鳥栖市内小規模事業 30事業所
 - ◆業種 製造5、建設5、卸売3、小売7
サービス10 計30事業所
- ※小規模事業とは、商業・サービス業では 従業員5名以下、それ以外の業種は20名以下の企業をいう。

DI値とは・・・

ゼロを基準として、プラスの値は上向き傾向を表し、マイナスの値は下向き傾向を表します。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの割合)

《経営力アップのために！！》

当初HPに「貸借対照表から何を読み取るか」というテーマで

【さぎん情報クラブ リンクス9月号】を参照記事として掲載しております。

中小企業の決算書の読み解き方を知ること、自社の経営のヒントが見つかるかもしれません。

是非ご覧下さい！！

